

# 2011' 合格体験記

**立大(英文) 明大(英文) 現役合格** 田中太郎 (東小→北本東中→埼玉栄高)

東大ゼミの第一の特徴は「英語の授業」です。東大ゼミでは「シリウス「発展編」という、いくつかあるシリウスシリーズの中でも最高レベルの教材を使っています。この教材は、形式は中学生用ですが、中身は高校でも通用するレベルです。僕は今では「誰でも、一度は、東大ゼミで、「発展編」を使った塩田先生の授業を経験しないと難関大への英語の土台を築く事ができない」と確信しています。僕は中学2年の冬頃大手塾から東大ゼミに移り、この授業を受けましたが、51しかなかった英語の偏差値が一ヵ月後67まで飛躍しました。この授業は英語を根本的に、しかも丁寧に、教えてくれるので、先生の授業をしっかり聞き、反復して練習する事で成績は必ず上がります。難関大程英語で合否が決まると言われますが、僕の「得意な英語」の原点はこの授業にあります。次に、第二の特徴は「先生の親密さ」です。東大ゼミは大手塾と比べてかなりの少人数制で、先生との距離がどこよりも近い塾です。そのため、解らない事があつたらすぐに質問できるし、授業でも疑問がある時はすぐにその疑問を解決してくれます。塩田先生は、常に「なぜ？」と生徒に考えさせる授業を展開し、大手塾講師や学校の先生がする一方的な受身の授業と全く違う、生徒が主体の授業です。この「自分で考える習慣」という事が受験において最も重要であると塩田先生は考えており、僕自身も東大ゼミで約4年学んだ事でその事の大切さが理解できるようになりました。なぜなら、知らない難問に出会った時、「自分で考える力」が役立つからです。最後に、後輩へのアドバイスですが、先生がどんなに素晴らしい授業をしても、それをしっかり「聞いて」さらに「繰り返し練習」しなければ、「できる」ようになりません。授業で解った事を活かすか活かさないかは自分自身の「執念の練習」に掛かっています。初めは東大ゼミ独特の授業展開に戸惑う事も多々あると思います。自分もそうでした(例えば、授業スピードが速い等)。しかし、それは先生が生徒のためを(つまり、受験に勝つためにはある程度のスピードが必要であることを)思っているという事を肝に銘じておいて下さい。最初はかなり辛いと思いますが、辛抱強く頑張れば結果は必ず付いてきます。皆さんが東大ゼミを通じて受験で少しでも良い結果が出る事を心から祈っています。塩田先生、長い間ほんとうにありがとうございました。